

## 6. 各地の調査実施状況

### 6-1) 北海道開発局

#### ①調査実施河川(順不同)

天塩川、豊平川、雨煙別川、輪厚川、雨竜川、忠別川、尻別川、後志利別川、沙流川、新釧路川、札内川

#### ②報告河川事務所、および協力団体、

幌延河川事務所、名寄河川事務所、札幌河川事務所、江別河川事務所、千歳川河川事務所、滝川河川事務所、旭川河川事務所、倶知安開発事務所、今金河川事務所、鶴川沙流川河川事務所、釧路河川事務所、帯広河川事務所、NPO 法人天塩川を清流にする会、北広島市役所、ランコ・ウシ尻別川河川愛護の会、NPO 法人沙流川愛クラブ、NPO 法人十勝多自然ネット、NPO 法人帯広 NPO28 サポートセンター

#### ③コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

- ・水面のプラスチックごみが多く、特にプラスチック袋、シート類が河畔林に引っかかっている  
→農家の肥料袋が多く見られたことから、**高水敷占有者への声かけ(注意喚起)**を行う(天塩川)
- ・道路沿いの河畔林区域であるためポイ捨てが多い →**看板設置**や**こまめな回収**(豊平川)
- ・人目につきにくい(通行人が少ない) →ごみを**捨てやすい場所**にしないこと(忠別川)
- ・車両で進入でき、河道内の樹木繁茂により人目につきにくい場所のため  
→**地域への啓発**や、車両の進入抑制を目的とした**車止めの設置**等(札内川)

#### ④実施状況

			
天塩川	豊平川	雨煙川	輪厚川
			
後志利別川	沙流川	忠別川	札内川

## 6-2) 東北地方整備局

### ① 調査実施河川(順不同)

岩木川、平川、高瀬川、馬淵川、北上川、中津川、江合川、鳴瀬川、名取川、荒川、米代川、雄物川、最上川

### ②報告河川事務所(協力団体)

青森河川国道事務所(藤崎出張所、八戸出張所)、高瀬川河川事務所、岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所(飯野川出張所、大崎出張所、鹿島台出張所)、仙台河川国道事務所、福島河川国道事務所、能代河川国道事務所、秋田河川国道事務所、山形河川国道事務所、海の自然史研究所、NPO 法人北上川サポート協会、(株)エフワーク、ボランティアグループ「かけはし」、ふるさとの川・荒川づくり協議会、米代川の環境を守る会

### ③コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

- ・洪水で水位が上昇し流れ着いたごみが高水敷に残されている→レジ袋のごみについては有料化によって減少に転じたように感じる。ペットボトルの**根本の販売数を減らしてごみを減らす**のも一つの案ではないか(高瀬川)
  - ・不法投棄および上流からの漂着 →ひとりひとりが**意識的にプラスチック製品の利用を減らす**
    - ・ごみを与える悪影響を周知、教育する
    - ・**ごみ拾いに団体(会社・学校等)単位で参加**してもらおう。ごみについて考えるきっかけになる(北上川)
  - ・堤防からも若干距離があり死角になっているため→**注意喚起看板設置**(北上川)
  - ・車からのポイ捨て並びに、増水時の漂着 →**駐車場や自動販売機付近へのごみ箱の設置、モラル向上**(鳴瀬川)
- ※水が引いて木の枝に引っかかったり、草むらにブルーシート・袋・発泡スチロール・農業用マルチ、肥料袋などの破片が取り残されていた。この破片のごみが一番多かった。土に埋まってしまっていて取りにくくなっているごみも気になった。発泡スチロールの小さくなった破片が大量にあった。また、流れてきた食品系のプラスチックや発泡スチロールの容器、包装袋などもたくさん取り残されていた。
- 不法投棄防止の看板のとこに古くなったブラウン管テレビが捨ててあったことが気になった。
- 「見えます」のごみ捨て防止用看板奥にタバコの吸殻が大量にあった (最上川)

### ④実施状況

			
岩木川	馬淵川	中津川	北上川
			
江合川	鳴瀬川	名取川	雄物川

### 6-3) 関東地方整備局

#### ①調査実施河川(順不同)

荒川

#### ②報告河川事務所(協力団体)

荒川下流河川事務所、NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム

#### ③コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

・上流から流れてきたごみが漂着。感潮区間であるため川岸にごみが漂着しやすい

→**啓発活動**で河川ごみの状況を広く知って貰う。

河川**ごみ拾い活動のみではなく環境学習を組み合わせた活動**を行う。(河川ごみはどこからくるのか？河川ごみの生態系への影響とは？など原因や影響を知って貰う)(荒川)

#### ④実施状況

	
荒川	荒川

### 6-4) 北陸地方整備局

#### ① 調査実施河川(順不同)

関川、保倉川、姫川、手取川、梯川

#### ②報告河川事務所(協力団体)

高田河川国道事務所、金沢河川国道事務所

#### ③コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

・橋梁下や桜づつみ等で、散策やバーベキューなどを行った後に放置

→**注意喚起看板を設置するなどの対応を行っているが、減らない状況である**(関川・保倉川・姫川)

・レジャーで利用した際のポイ捨て、不法投棄 →各自マナーを守ること (手取川)

・付近に進入路もあり、釣り等で訪れる人が多い →**注意看板の設置** (梯川)

#### ④実施状況

		
関川	手取川	梯川

## 6-5) 中部地方整備局

### ① 調査実施河川(順不同)

狩野川、安倍川、大井川、天竜川、土岐川、庄内川、新川、藤前干潟、長良川、木曾川、雲出川、中村川、松名瀬海岸、宮川

### ② 報告河川事務所(協力団体)

沼津河川国道事務所、静岡河川事務所、天竜川上流河川事務所、庄内川河川事務所、木曾川上流河川事務所、三重河川国道事務所

### ③ コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

- ・雑草が生えている箇所だとごみが見つかりにくい。→橋梁下は雑草の隅にごみが捨てられやすいため、**草刈り**をする必要がある(安倍川)
- ・草木に隠れるようにごみが放置されていた →流域全体において**定期的なパトロール**が必要(雲出川)
- ・ →不法投棄が多い箇所での**看板設置**、**継続的な河川清掃**及び**活動の周知**(狩野川)

※特にペットボトル・缶のごみの量が昨年に比べて非常に増えていた。(昨年は逆に高水敷上にごみが散乱しており、ペットボトル・缶のごみがそこまでの量ではなかったため、昨年度とは逆の結果となった。昨年は台風 10 号の影響で河川の増水があったため、その影響で高水敷上にごみが散乱し、ペットボトル・缶などのごみは土砂とともに伊勢湾へ放流されてしまったものと考えられる)(雲出川)

### ④ 実施状況

			
狩野川	安倍川	大井川	天竜川
			
土岐川	土岐川	庄内川・新川	木曾川
			
雲出川	雲出川	中村川	宮川

## 6-6) 近畿地方整備局

### ①調査実施河川(順不同)

由良川、名張川、猪名川、淀川、天野川、木津川、大和川、円山川、加古川、中川、紀の川、北川

### ②報告河川事務所(協力団体)

福知山河川国道事務所、木津川上流河川事務所、猪名川河川事務所、淀川河川事務所、大和川河川事務所、豊岡河川国道事務所、姫路河川国道事務所、和歌山河川国道事務所、福井河川国道事務所、NPO 法人 地域と自然ちよいまる、淀川管内河川レンジャー

### ③コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

- ・橋の下で、バーベキュー等をやりやすい →既存の「ごみ捨て禁止」の看板に加えて、見られていることを呼び掛ける**ポスターを設置**  
橋脚に「ごみ捨て禁止」の**注意書き**を貼る(由良川)
- ・交通量が少なく、駐車可能なスペースが近傍にあるから。→**監視カメラの設置**等(加古川)
- ・人目があまり無い上に、草が繁茂し、捨てたごみが見えなくなる場所なので、堤防天端の道路から心理的にごみを捨てやすい(北川)
- ・堤防道路を通行する車が非常に多く、信号待ち等のタイミングで車から川側へごみが投げ捨てられていると考える  
→**日頃から川がキレイな状態を保ち**、ポイ捨てをためらうような川を維持していく(紀の川)
- ・支川が合流する潜在的にごみの多い箇所であり、かつ河道屈曲の外側でごみのたまりやすい  
→住民および住民以外の利用者へむけた**啓発活動**が肝要(大和川)

※一か所にごみが集まっているので、家庭ごみを袋ごと投棄している人がごく少数存在すると思われる(北川)

※バーベキュー網等持ち帰って処分するのが面倒なごみ、飲料や食品の容器が目立つ(由良川)

◎ごみがそもそも少なく、キレイに堤防を利用されていると感じた(円山川)

### ④実施状況

			
由良川	淀川	淀川	淀川
			
木津川	大和川	円山川	紀の川

## 6-7) 中国地方整備局

### ①調査実施河川(順不同)

千代川、天神川、日野川、法勝寺川、江の川、高津川、芦田川

### ②報告河川事務所(協力団体)

鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所、浜田河川国道事務所、福山河川国道事務所、高橋建設(株)

### ③コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

・橋の下は人目につきにくく、捨てやすい環境

家庭ごみを持ってきてばらまいている人がいる(ごみの種類や散乱状況より)

→**不法投棄防止看板の設置**。今回の調査地点にも看板を設置する予定(千代川)

・水辺の楽校、サッカー場などの施設利用があるため(日野川、法勝寺川)

・出水時に流されたごみが引っかかっている(江の川)

・川裏の工場から風で飛ばされてきた。結束紐、肥料の袋など(高津川)

・付近に公園があり、利用が多い場所であるため(芦田川)

・ポイ捨て(高津川)

◎朽ちたタンや大型の発砲スチロール等、比較的大型のごみが多く、ポイ捨てと思われるごみが少なかった(江の川)

◎今季は河川敷が隠れるような出水が無く、漂着ごみが見当たらなかった(高津川)

◎ごみの量は減っているが、ペットボトルが多く見られた(芦田川)

### ④実施状況

			
千代川	千代川	天神川	天神川
			
高津川	高津川	高津川	芦田川

## 6-8) 四国地方整備局

### ①調査実施河川(順不同)

土器川、重信川、物部川、仁淀川

### ②報告河川事務所(協力団体)

香川河川国道事務所、松山河川国道事務所、高知河川国道事務所

### ③コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

- ・親水護岸が有り、人が集う場所であるため(土器川)
- ・上流からの漂着(重信川)

◎以前に比べごみの数は少なくなった。流況によりごみ量に変化するので、今後も注視する必要がある(重信川)

### ④実施状況

		
物部川	仁淀川	仁淀川

## 6-9) 九州地方整備局

### ①調査実施河川(順不同)

松浦川、六角川、嘉瀬川、本明川、番匠川、井崎川

### ②報告河川事務所(協力団体)

武雄河川事務所、佐賀河川事務所、長崎河川国道事務所、佐伯河川国道事務所、伊万里市コミュニティーセンター、本明川交流会、弥生の森と清流を守る会

### ③コメント <ごみの散乱状況と原因> →<ごみを減らすためにできること>

・モラルや意識の欠如

ごみがすでに散乱していると「自分も捨ててもいい」と思うため→広報活動を通じて河川愛護の意識を高める

注意看板等の設置 (嘉瀬川)

・人の往来が多い場所であるため、故意に捨てる人が少なくても、置き忘れや風で飛ばされる等の理由で意図せずごみが散乱してしまうのではないかと →河川環境美化を呼びかける看板などを立てる (本明川)

・河川内の公園で、人が集まるところのため。 →作業当日には、キャンプ等河川利用者がいたので、ごみ拾いをして

いる現状を見てもらうことにより、不法投棄が減ることを望む。

→今回のごみ拾い状況を SNS で周知する。(番匠川、井崎川)

◎ごみが少なかったので、公園を利用する方々がルールを守り公園を大切にされているということを感じた(松浦川)

◎全体的としては、ごみが少なく、利用者のマナーが良いと感じた(番匠川、井崎川)

### ④実施状況

		
松浦川	六角川	番匠川、井崎川